

2019年度 山岳レスキュー講習会（無雪期・西部地区 ※1）開催要項

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

- 趣旨 無積期登山での遭難防止及び遭難事故現場に必要な登山者の救助技術の習得・研鑽を目的とする。
- 期日 2019年9月6日（金）13:00～9月8日（日）13:00
- 会場・受付・宿泊：独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所
〒930-1415 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂6 TEL:076-482-1211
- 応募対象者、定員およびクラス
 - 応募対象者 一般登山技術 又は クライミング技術をお持ちの方
 - 募集定員 39名（一般登山者、他団体加入の方でも受講できます）
 - クラス編成（経験および希望に応じてクラス分け致します）
 - ①縦走・ハイキングレスキュー クラス（定員15名）
運動生理学、簡易ロープワーク、ビバーク、ファーストエイド等遭難の予防と対応について学習します。
 - ②ロッククライミング セルフレスキュー クラスA（定員6名）
レスキューに必要な個々の技術、ロープワーク、フリクションノット、ラッピング、ロータウ、レイジング等について学習します。
 - ③ロッククライミング セルフレスキュー クラスB（定員10名）
個々の技術を習得している方が、レスキューに関する組み立てと一連の動作について学習します。
（ビレー体制からの自己脱出→要救助者へのアクセス→フリーロープのフィックス
→要救助者のところへ懸垂下降→振り分け救助のセット→振り分け懸垂で安定地点まで下降）
 - ④ロッククライミング セルフレスキュー クラスC（定員8名）
複数ピッチルートでの事故を想定した居合わせたグループ（バスターンダー）によるシミュレーションについて学習します。
- 講師 日本山岳・スポーツクライミング協会遭難対策常任委員、専門委員
- 講習日程および内容 別表-1、2に記載（詳細日程は変更になることがあります）
- 参加申込
 - 申込方法 別紙の参加申込書により、メールにて申込むこと。
 - 申込先（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会事務局（内）遭難対策委員会
メールアドレス soutai@jma-sangaku.or.jp
 - 申込期間 2019年8月1日（木）～8月30日（金）**※7月31日以前の申し込みは無効となります。**
申し込まれた方には8月から1週間ごとに受付可否の返信を致します。
受付可否の返信が到着しないときは恐れ入りますが問合せ先へ確認願います。
- 修了証授与 この講習会に全日程参加し、修了したと認められた者には修了証を授与する。
- その他留意事項
 - 受講費 10,000円（2泊宿泊代、6日夕食から8日朝食まで5食、教材費、保険、消費税含む）
※今回の宿舎は一部セルフサービスとなっておりますのでご協力願います。
 - 受講費払込 受講決定者は通知に記載の期限までに下記口座あて郵便振込をお願いします。
郵便振替口座名 00110-5-546693 加入者名：（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会
「氏名」および「山岳レスキュー講習会 無雪期」と明記のこと。
 - キャンセル 8月30日までは8,000円返金、8月31日～9月3日までは5,000円返金致します。
9月4日以降のキャンセルについては返金致しません。
キャンセルについてはメールにて必ず連絡願います。
 - その他の費用 会場までの交通費は、受講者の負担と致します。
 - 保険 主催者で傷害保険に加入します。
 - 講習会持参用具 別表-3に記載。
 - 問い合わせ 月～金曜日の午前10時～午後5時まで Tel: 03-5843-1631 日山協事務局
 - ※1 本事業は西部地区対象事業ですが、本年度は東部地区の方も参加できます。
 - この事業はスポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

スポーツ振興くじ助成事業

別表一 1 講習日程 (日程は、天候・講習内容等の都合により変更する場合があります)

月日	時 間	行動予定・項目	縦走・ハイキング	セルフ A, B	セルフ C
9 月 6 日 (金)	12:30~13:00	受付	研修所 2 階		
	13:00~13:30	開講式・オリエンテーション	2 階講義室		
	13:30~14:00	全体講習 (H30 山岳遭難事故・登山のリスク管理) ↓			
	14:10~17:00	各クラス講習	室内	室内・屋外	室内・屋外
	17:00~19:00	入浴・夕食			
	19:00~20:30	各クラス講習	室内	室内	室内
9 月 7 日 (土)	7:00~8:00	朝食			
	8:00~12:00	各クラス講習	室内	屋外	屋外
	12:00~13:00	昼食 (弁当)			
	13:00~17:00	各クラス講習	屋外	屋外	屋外
	17:00~19:00	入浴・夕食			
	19:00~21:00	情報交換会			
9 月 8 日 (日)	7:00~8:00	朝食			
	8:00~12:00	各クラス講習	屋外	屋外	屋外
	12:00~12:30	各クラス片付け・反省会			
	12:30~13:00	閉講式	2 階講義室		

別表一 2 講習内容

縦走ハイキングレスキュー クラス	セルフレスキュー クラス A・B	セルフレスキュー クラス C
①登山とリスク管理	①事件事例研究 (A B)	①事件事例 研究
②山での応急手当	②仮固定と自己脱出 (A B)	②リーダーレスキュー技術
③事件事例研究	③確保体験 (時間による)	③セカンドレスキュー技術
④応急手当 (実技)	④トップの救助とセカンドの救助	④チームレスキュー技術
⑤事故を予防する装備と行動	(B)	(コンパニオンレスキュー)
⑥事故を予防する運動生理学	⑤搬送法 (A, B)	⑤シミュレーション
⑦道迷いについて	⑥シミュレーション (A, B)	
⑧補助ロープを使った安全確保		
⑨ビバーク、搬送法		
⑩シミュレーション		

別表一 3 講習会持参品 (◎:必須、○:あれば持参) (講習内容により使用しない場合もあります)

品名	縦走・ハイキング	セルフ A, B	セルフ C
筆記用具、体育館シューズ	◎	◎	
救急用品(三角巾、テーピングテープ(38mm幅)、包帯)	◎	◎	◎
雨具、防寒具	◎	◎	
ストック	○		◎
ツェルト (またはフライシート等)	○	○	◎
帽子	◎		
ヘルメット、ハーネス、グローブ、ナイフ		◎	
カラビナ (安全環付き含む)	○(3 枚)	◎ ※	◎
スリング (60cm、120cm、150cm~180cm)	○(3 本)	◎ ※	◎
下降器具、確保器具、PAS		◎	◎
アッセンダー、プーリー		○ ※	◎
クライミングロープ (Φ8.5mm 以上×40m 以上)			◎
補助ロープ (Φ6mm 以上×10m 位)	○		
その他山行でよく使う装備および登攀具	○	○	

(主催者側で用意する装備) お持ちの方は、なるべくご自分の装備を持参頂き使い方を習得しましょう。

(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会 御中

2019年度 山岳レスキュー講習会（無雪期）参加申込書

下記の □ 内にレでチェックし、必要事項をご記入願います。

申込者の所属

- 日本山岳・スポーツクライミング協会
山岳連盟・協会（役職）
- その他の団体、組織
所属団体、組織名
- 無所属

申込者 氏 名 (ふりがな)

生年月日(西暦) 年 月 日 歳 血液型 型 性別 女 ・ 男

住 所 〒 -

電話番号 携帯電話番号

Email

緊急連絡先 氏 名 (ふりがな)

電話番号 携帯電話番号

- 受講希望コース ①縦走・ハイキングレスキュー クラス
- ②ロッククライミング セルフレスキュー クラスA
- ③ロッククライミング セルフレスキュー クラスB
- ④ロッククライミング セルフレスキュー クラスC

ロッククライミング セルフレスキュー クラスA、B、Cを受講希望される方は登攀歴、グレードを記入願います。

登攀歴 : 年 登攀されたロッククライミングの最高グレード :

領収書が必要な方は下記に記入願います。

領収書を区分する場合は内訳を具体的に記載して下さい。(例：1枚は講習会と宿泊、1枚は食事等)

領収書の宛名

具体的な項目

指導員資格保有者へ：この講習会は資格更新における義務研修の対象となります。

申請が必要な方は指導員 NO を記入願います。

日山協指導員資格 番号

会場までの交通手段（参考）

自家用車 公共交通 未定